

# 人権問題に関する府民意識調査

令和 2(2020)年 11 月  
大 阪 府

この調査は、大阪府が人権教育や啓発を進める上の基礎資料として活用するため、府民のみなさまに、人権問題についてのお考えをお聞きするものです。

18 歳以上の府民のみなさまの中から無作為に 3,500 名の方を選び、この調査票をお送りしています。

無記名で回答いただき、誰がどのように回答したのか全く分からないように統計的に処理しますので、あなたご自身にご迷惑をおかけすることは一切ありません。また、回答は上記の目的以外に使用することはありません。

お答えいただく方によっては、心情を害する質問があるかもしれませんが、上記の目的のため必要なものとして作成していますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

お忙しいところ、お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

## 【回答方法、回答期限】

次の2つの方法からいずれか1つをお選びいただき、ご回答ください。

### 1 郵送による回答

調査票(この冊子)にボールペンまたは鉛筆で直接記入し、同封の返信用封筒(切手不要)に封入のうえ、12月14日(月)までにポストに投函してください。封筒にお名前を書いていただく必要はありません。

### 2 オンラインによる回答

パソコン、タブレット、スマートフォンを利用し、12月14日(月)までにオンラインでご回答ください。詳細は、同封の「オンライン回答のご案内」をご覧ください。オンライン回答の場合は、調査票(この冊子)の記入及び返信は不要です。

## 【記入上の注意】

あて名のご本人が回答してください。(ご本人での回答が困難な方は、ご家族などのご協力によりご回答いただいても結構です。)

回答は、あてはまるものの番号にハッキリと○をつけてください。(一部、数字を記入いただくところがあります。)

この調査に関するご質問などは

**府民文化人権局 人権企画課 教育・啓発グループ** までお願いします。

〒559-8555 大阪市住之江区南港北一丁目14番16号

電話 (06) 6210-9281 (直通)

FAX (06) 6210-9286

最初に、いろいろな人権問題の意識や考え方についてお聞きします。

問1 あなたは、次の人権問題を知っていますか。

(1～16それぞれについて、知っている・知らないのどちらかに○)

		1 知 つ て い る	2 知 ら な い
1	女性の人権問題 (例) 役割分担意識、就労での不当な扱い、DV (配偶者やパートナー間における暴力)	1	2
2	子どもの人権問題 (例) いじめ、虐待、体罰、児童ポルノ	1	2
3	高齢者の人権問題 (例) 介護放棄、虐待、悪質商法・特殊詐欺の被害	1	2
4	障がい者の人権問題 (例) 店舗でのサービス拒否、就労での不当な扱い、虐待	1	2
5	部落差別 (同和問題) (例) 身元調査、結婚や交際における周囲の反対	1	2
6	日本に居住している外国人の人権問題 (例) 入居拒否、就労での不当な取扱い	1	2
7	HIV 陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題 (例) 日常生活での不当な扱い、宿泊拒否	1	2
8	こころの病 (うつ病、依存症など) に関する人権問題 (例) 風評による先入観や偏見、プライバシーの侵害	1	2
9	犯罪被害者やその家族の人権問題 (例) 無責任なうわさや誹謗中傷、プライバシーの侵害	1	2
10	ホームレスの人権問題 (例) 嫌がらせ、暴力	1	2
11	性的マイノリティの人権問題 (例) 同性パートナーとの入居拒否、本人が望んでいないのに、自らの性的指向や性自認を他者に広められる (アウティング)	1	2
12	職業や雇用をめぐる人権問題 (例) 差別待遇、職業や職種に対する偏見	1	2
13	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント	1	2
14	インターネットにおける人権侵害 (例) 誹謗中傷、差別を助長する有害情報	1	2
15	ヘイトスピーチ (特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動)	1	2
16	新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題 (例) 日常生活での不当な扱い、宿泊拒否	1	2

問1-1 あなたが、特に人権上の深刻な問題と考えるものは、1～16のうちのどれですか。  
(該当する番号を3つ記入)

--	--	--

[注] (1) 「性的マイノリティ」とは、LGBT（レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー）など、恋愛や性愛の対象が同性の人や、出生時に判定された性と自認する性が異なる人などの総称として用いています。

(2) 「ヘイトスピーチ」とは、一般に憎悪<sup>そうお</sup>に基づく差別的な言動のことを言いますが、この調査では、特定の人種や民族であることを理由として、日本社会から追い出そうとしたり、人格をおとしめたり、危害を加えようとするなどの不当な差別的言動として用いています。

問2 あなたは、次のような行為について、人権上問題があると思いますか。

((1)～(18)それぞれについて、いずれか1つに○)

	1 問題があると思う	2 どちらかといえば問題があると思う	3 どちらかといえば問題はないと思う	4 問題はないと思う	5 わからない
(1) 職場で顔を合わせるたびに「まだ結婚しないのか」と言う	1	2	3	4	5
(2) 中学生の携帯電話やスマートフォンの使用を親の判断で制限する	1	2	3	4	5
(3) 家族が不在の際、介護が必要な高齢者を家から出られなくする	1	2	3	4	5
(4) 視覚障がい者との会話ではテレビや映画、風景などは意識して話題にしないようにする	1	2	3	4	5
(5) 結婚する際、興信所や探偵業者などを使って相手の出自を調べる	1	2	3	4	5
(6) 同じマンションに住む外国人とは生活文化が異なるので、付き合わないようにする	1	2	3	4	5
(7) HIV陽性者やハンセン病回復者とは一緒に食事や入浴をしない	1	2	3	4	5
(8) こころの病のある人には関わらないようにする	1	2	3	4	5
(9) 痴漢の被害者に「あなたにも問題があったのではないか」と言う	1	2	3	4	5
(10) 公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去る	1	2	3	4	5
(11) 職場で性的マイノリティであることを公表している人と席が隣になることを嫌がる	1	2	3	4	5

	1 問題があると思う	2 どちらかと言えば問題があると思う	3 どちらかと言え ば問題はないと思 う	4 問題はないと思 う	5 わからない
(12) 人前で部下を長時間にわたり大声で叱る	1	2	3	4	5
(13) Twitter や Facebook など、インターネットのサイトに他人の誹謗中傷を書き込む	1	2	3	4	5
(14) 街頭などで、特定の国の出身の人々について、「日本から出て行け」と言う	1	2	3	4	5
(15) 災害時に支援が必要な人のリストを作成するため、自治会の役員が住民に緊急時連絡先や疾病、障がいの有無などを尋ねる	1	2	3	4	5
(16) ニートや引きこもりの人に「怠けていないで働きなさい」と言う	1	2	3	4	5
(17) 恋人や配偶者・パートナーの携帯電話やスマートフォンの通信履歴を見る	1	2	3	4	5
(18) 新型コロナウイルス感染症の回復者並びに医療従事者等やその家族であることを理由に、交通機関の利用や保育所の受入れなどを断る	1	2	3	4	5

次に、住まいのことや就職、結婚相手・パートナーに対する意識や考え方についてお聞きします。

問3 あなたが家を買ったり借りたりする際に重視する(した)立地条件は何ですか。  
(○はいくつでも)

1	都心部、最寄り駅や幹線道路へのアクセス	6	校区の教育水準や学力レベルの評判
2	公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況	7	近隣に低所得者が多いと言われていないか
3	日照・眺望など	8	近隣に外国籍住民が多いと言われていないか
4	周辺の住宅の状況 (戸建て/集合、持ち家/賃貸など)	9	近隣に同和地区があるとされていないか
5	地域のイメージ	10	その他 ( )

問3-1 採用面接における質問で、あなたが人権上問題があると思うことはどれですか。  
(○はいくつでも)

1	国籍	7	支持政党
2	本籍・出生地	8	人生観や生活信条
3	家族の状況（職業、続柄、健康、地位、 学歴、年収、資産など）	9	尊敬する人物
4	住宅の状況（住宅の種類、間取り、部屋 数、近隣の施設など）	10	労働組合、学生運動など社会活動の経験
5	生活環境、家庭環境	11	購読新聞、雑誌、愛読書など
6	宗教		

問3-2 あなたが、結婚相手など、パートナーを決めるとしたら、その人について重視することは  
どんなことだと思いますか。(○はいくつでも)

1	人柄や性格	11	本籍・出生地
2	趣味や価値観	12	国籍、民族
3	仕事に対する理解と協力	13	相手やその家族が障がい者かどうか
4	家事や育児に対する理解と協力	14	相手やその家族の宗教
5	経済力	15	ひとり親家庭かどうか
6	学歴	16	同和地区の出身であると言われていないかどうか
7	職業	17	その他
8	家族構成		( )
9	家柄		
10	離婚歴		

【注】「同和地区」について

我が国では同和問題の解決に向け、平成14(2002)年3月に「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」(以下、「同法」という。)が失効するまでの間、同和地区の環境改善や同和教育・人権啓発などの取組みが積極的に進められてきました。

この調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、同法(平成14(2002)年3月失効)によって指定されていた対象地域を示しています。

ここ5年間の人権をめぐる法律や条例の施行、及びこれらに関する人権問題についてお聞きします。

問4 あなたは現在、障がいのある人に関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思いますか。 ((1)~(9)それぞれについて、いずれか1つに○)

	1 あると思う	2 どちらかと言えば あると思う	3 どちらかと言えば ないと思う	4 ないと思う	5 わからない
(1) 道路の段差解消、エレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすい配慮が足りないこと	1	2	3	4	5
(2) 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境整備が十分でないこと	1	2	3	4	5
(3) 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	1	2	3	4	5
(4) 障がいのある人が賃貸住宅などへ入居することが困難であること	1	2	3	4	5
(5) 病院や福祉施設において劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	1	2	3	4	5
(6) 音声案内や字幕など、情報を分かりやすい形にして伝える配慮が足りないこと	1	2	3	4	5
(7) 障がいがあることを理由とした宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	1	2	3	4	5
(8) 障がいのある人の意見や行動が尊重されないこと	1	2	3	4	5
(9) スポーツ活動や文化活動への参加に対する配慮がなされていないこと	1	2	3	4	5

問5 あなたは現在、日本に居住している外国人に関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思いますか。 ((1)~(9)それぞれについて、いずれか1つに○)

	1 あると思う	2 どちらかと言えば あると思う	3 どちらかと言えば ないと思う	4 ないと思う	5 わからない
(1) 就職や仕事の内容・待遇などにおいて不利な条件に置かれていること	1	2	3	4	5
(2) 賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(3) 宿泊施設、店舗等への入店や施設の利用を拒否されること	1	2	3	4	5
(4) 結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けること	1	2	3	4	5
(5) 子どもに対して、自国の文化や生活習慣に合った教育が行われにくいこと	1	2	3	4	5
(6) 文化や生活習慣の違いを理由とする嫌がらせを受けること	1	2	3	4	5
(7) 病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと	1	2	3	4	5
(8) 特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動（ヘイトスピーチ）があること	1	2	3	4	5
(9) 政治に意見が十分反映されないこと	1	2	3	4	5

問6 あなたは現在、部落差別（同和問題）に関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思いますか。 ((1)～(8)それぞれについて、いずれか1つに○)

	1 あると思う	2 どちらかと言えば あると思う	3 どちらかと言えば ないと思う	4 ないと思う	5 わからない
(1) 就職の時や職場で不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(2) 地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること	1	2	3	4	5
(3) 身元調査をされること	1	2	3	4	5
(4) 行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること	1	2	3	4	5
(5) インターネット上に <sup>ひぼう</sup> 誹謗中傷等が掲載されること	1	2	3	4	5
(6) インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること	1	2	3	4	5
(7) (1)～(6)のほか、差別的言動をされること	1	2	3	4	5
(8) 同和問題を口実とする企業や官公庁等に対する不当な要求（えせ同和行為）が行われること	1	2	3	4	5

問7 あなたは現在、性的マイノリティに関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思いますか。 ((1)~(9)それぞれについて、いずれか1つに○)

	1 あると思う	2 どちらかと思えば	3 どちらかと言えば	4 ないと思う	5 わからない
(1) 性的マイノリティへの理解や認識が不足していること	1	2	3	4	5
(2) 学校や職場などで嫌がらせやいじめを受けること	1	2	3	4	5
(3) 就職の時や職場で不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(4) 性的マイノリティに対する相談や支援体制が十分でないこと	1	2	3	4	5
(5) 賃貸住宅などへの入居を拒否されること	1	2	3	4	5
(6) 宿泊施設、店舗等への入店や施設の利用を拒否されること	1	2	3	4	5
(7) 本人が望んでいないのに、自らの性的指向や性自認を他者に広められること (アウトティング)	1	2	3	4	5
(8) パートナーがいても、婚姻と同等に扱われないこと	1	2	3	4	5
(9) じろじろ見られたり、避けられたりすること	1	2	3	4	5

問8 あなたは、次の法律や条例について知っていますか。

	1 内容(趣旨) を知っている	2 あることは 知っている	3 知らない
(1) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害者差別解消法)	1	2	3
(2) 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(ヘイトスピーチ解消法)	1	2	3
(3) 部落差別の解消の推進に関する法律 (部落差別解消推進法)	1	2	3
(4) 大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例 (大阪府障がい者差別解消条例)	1	2	3
(5) 大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例(大阪府性の多様性理解増進条例)	1	2	3
(6) 大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例(大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例)	1	2	3

〔障害者差別解消法、大阪府障がい者差別解消条例〕

障がいを理由とする差別の解消の推進をめざし、平成28年4月に「障害者差別解消法」が施行されました。また、大阪府においても、同年同月に「大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」を施行しました。

障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、ともに生きる社会を築いていくことが求められています。

〔ヘイトスピーチ解消法、大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例〕

本邦外の出身者であることを理由として排除することを煽動する不当な差別的言動の解消をめざし、平成28年6月に「ヘイトスピーチ解消法」が施行されました。

大阪府においても、令和元年11月に「大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例」を施行しました。

ヘイトスピーチをなくし、すべての人がお互いに人種や民族の違いを尊重しあって共生する社会を築いていくことが求められています。

〔部落差別解消推進法〕

部落差別のない社会の実現をめざし、平成28年12月に「部落差別解消推進法」が施行されました。

部落差別の解消に関する施策は、その必要性について国民一人一人の理解を深めながら、行われなければなりません。

また、教育や啓発など、具体的な施策の実施にあたっては、地域社会の実情を踏まえるとともに、新たな差別を生むことがないように留意することが求められています。

〔大阪府性の多様性理解増進条例〕

性的指向及び性自認の多様性に関する理解の増進をめざし、令和元年10月に「大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例」を施行しました。

性的マイノリティに対する誤解や偏見をなくし、だれもが自分らしく生きることができる社会の実現をめざしていくことが求められています。

近年、インターネットは手軽に情報を入手できるだけでなく、誰でも容易に情報を発信できるメディアとして、SNS の普及などさらに身近になりつつありますが、インターネットを悪用した人権侵害が大きな社会問題となっています。ここでは、こうしたインターネットにおける人権侵害の問題について、お聞きします。

問9 あなたは現在、インターネットに関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思いますか。 ((1)～(10)それぞれについて、いずれか1つに○)

	1 あると思う	2 どちらかと言えば あると思う	3 どちらかと言えば ないと思う	4 ないと思う	5 わからない
(1) 他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること	1	2	3	4	5
(2) フェイクニュース(真実ではない情報)や誤った情報が拡散されること	1	2	3	4	5
(3) SNS (LINE や Twitter など) による交流が犯罪を誘発する場となっていること	1	2	3	4	5
(4) 書き込んだ人を特定するための手続きに時間を要すること	1	2	3	4	5
(5) インターネットが悪質商法の取引の場となっていること	1	2	3	4	5
(6) 子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生していること	1	2	3	4	5
(7) 差別を助長するような情報が掲載されること	1	2	3	4	5
(8) わいせつな画像や残虐な画像などの情報が掲載されること	1	2	3	4	5
(9) 捜査対象となっている未成年者の名前・顔写真が掲載されること	1	2	3	4	5
(10) 問題のある情報がインターネット上に掲載されると、削除や訂正に時間がかかること	1	2	3	4	5

次に、人権や差別に関する考え方についてお聞きします。

問 10 人権や差別をめぐっていろいろな考え方がありますが、あなたの考えに最も近いのはどれですか。 ((1)~(11)それぞれについて、いずれか1つに○)

	1 そう思う	2 どちらかと言えば そう思う	3 どちらかと言えば そう思わない	4 そう思わない	5 わからない
(1) 差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならなければならない	1	2	3	4	5
(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ	1	2	3	4	5
(3) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(4) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い	1	2	3	4	5
(5) 差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ	1	2	3	4	5
(7) 差別を受けてきた人に対しては、行政の支援が必要だ	1	2	3	4	5
(8) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる	1	2	3	4	5
(9) 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
(10) 差別を受けた人との交流や協働を進めていくことは重要である	1	2	3	4	5
(11) 人権問題とは、差別を受ける人の側の問題であって、自分には関係がない	1	2	3	4	5

人権問題の解決に向けた行政の取組みについてお聞きします。

問 11 あなたは、人権問題の解決に向けた次のような行政の取組みについて、見聞きする（した）ことがありますか。 ((1)～(9)それぞれについて、いずれか1つに○)

	1 見 よ く 見 聞 き す る	2 見 た ま に 見 聞 き す る	3 あ ま り 見 聞 き し な い	4 ほ と ん ど 見 聞 き し な い
(1) 街頭での啓発や駅のコンコースなどでのデジタルサイネージ（電子看板）や啓発ポスターの掲示	1	2	3	4
(2) 新聞・テレビ・ラジオによる広報	1	2	3	4
(3) 広報誌、啓発冊子、教育教材	1	2	3	4
(4) 講演会・研修会	1	2	3	4
(5) ホームページによる情報発信	1	2	3	4
(6) プロ野球の試合とのタイアップなど、スポーツ組織と連携・協力した啓発イベント	1	2	3	4
(7) 作文、詩、読書感想文、ポスター等の募集・表彰	1	2	3	4
(8) 人権相談窓口の開設	1	2	3	4
(9) 戸籍謄本や住民票を第三者に交付した時に事前に登録した本人にお知らせする制度（本人通知制度）	1	2	3	4

次に、人権について学ぶための機会についてお聞きします。

問 12 あなたは、学校で、次にあげる人権学習を受けたことがありますか。(○はいくつでも)

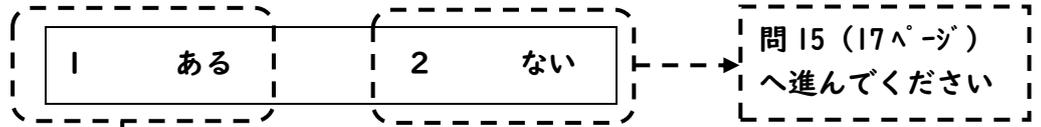
	1 小学校で 受けた	2 中学校で 受けた	3 高校で 受けた	4 大学、短大、 専門学校で 受けた	5 はっきりと おぼえて いない	6 受けた ことはない
(1) 障がい者の人権問題	1	2	3	4	5	6
(2) 日本に居住している外国人の人権問題	1	2	3	4	5	6
(3) 部落差別（同和問題）	1	2	3	4	5	6
(4) 性的マイノリティの人権問題	1	2	3	4	5	6
(5) HIV陽性者、ハンセン病回復者及び その家族の人権問題	1	2	3	4	5	6

問 13 あなたは、最近5年間で、次にあげる人権問題に関するイベント、講演会、研修会、学習会などに参加したことがありますか。 ((1)~(5)それぞれについて、いずれか1つに○)

	1 1回 だけ 参加 した	2 2~4 回 くら い 参加 した	3 5 回 以上 参加 した	4 参加 した こと がない
(1) 障がい者の人権問題	1	2	3	4
(2) 日本に居住している外国人の人権問題	1	2	3	4
(3) 部落差別（同和問題）	1	2	3	4
(4) 性的マイノリティの人権問題	1	2	3	4
(5) HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族 の人権問題	1	2	3	4

続いて、人権侵害についてお聞きします。

問 14 あなたは、最近5年間に人権上問題と思われる言動を受けたり、身近で見聞きしたりしたことがありますか。複数ある場合は、一番印象に残っているものについてお答えください。  
(いずれか1つに○)



問 14-1 それはどのような人権問題に関するものでしたか。(いずれか1つに○)

1	女性の人権問題	2	子どもの人権問題	3	高齢者の人権問題
4	障がい者の人権問題	5	部落差別（同和問題）	6	日本に居住している外国人の人権問題
7	HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題	8	こころの病に関する人権問題	9	犯罪被害者やその家族の人権問題
10	ホームレスの人権問題	11	性的マイノリティの人権問題	12	職業や雇用をめぐる人権問題
13	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント	14	ヘイトスピーチ	15	新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題
16	その他（ ）				

問 14-2 それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

差別的な扱い	
1	(人種・信条・性別・社会的身分・出生地等により、職業・雇用や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な扱いをされた)
2	学校、地域における嫌がらせやいじめ
3	差別的な言動、 <sup>ひぼう</sup> 誹謗中傷、あらぬうわさ
4	育児や介護の放棄・放任
5	虐待
6	暴力行為、脅迫、強要
7	DV（配偶者やパートナー間における暴力(精神的・経済的・社会的・子どもを巻き込む・性的も含む)
8	職場におけるハラスメント（セクハラ・パワハラ等）
9	プライバシーの侵害
10	インターネットによる人権侵害
11	その他（ ）
12	答えたくない

問 14-3 それはあなた自身に対するものでしたか。(いずれか1つに○)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問 14-4a どう対応しましたか。(いずれか1つに○)

1 抗議、反論した
2 相談した(どこに、誰に: _____)
3 訴えた(どこに: _____)
4 我慢した
5 その他( _____)

問 14-5a 最終的に解決しましたか。(いずれか1つに○)

1 解決した
2 解決しなかった
3 その他( _____)

問 14-4b どう対応しましたか。(いずれか1つに○)

1 いけないことだと指摘した
2 いけないことだと分かってもらおうとした
3 相談(通報)した(どこに・誰に: _____)
4 同調した
5 話をそらした
6 何もしなかった

問 14-5b そのような問題(事案)は、どのように対応したらよいと考えますか。(○はいくつでも)

1 さまざまな人権問題をめぐる誤解や偏見、差別をなくし、一人ひとりの人権意識を高めるために、行政が正しい知識と理解を深める人権啓発に努める
2 人権侵害を受けた当事者が救済されるよう人権課題に対応する専門の相談機関・相談窓口を拡充する
3 人権侵害を受けた当事者自らが解決策を講じる
4 発達段階に応じた学校における人権教育や、地域や職場における人権研修を充実する
5 特に何もしなくてよい
6 その他( _____)



